

豊かな食解析システム

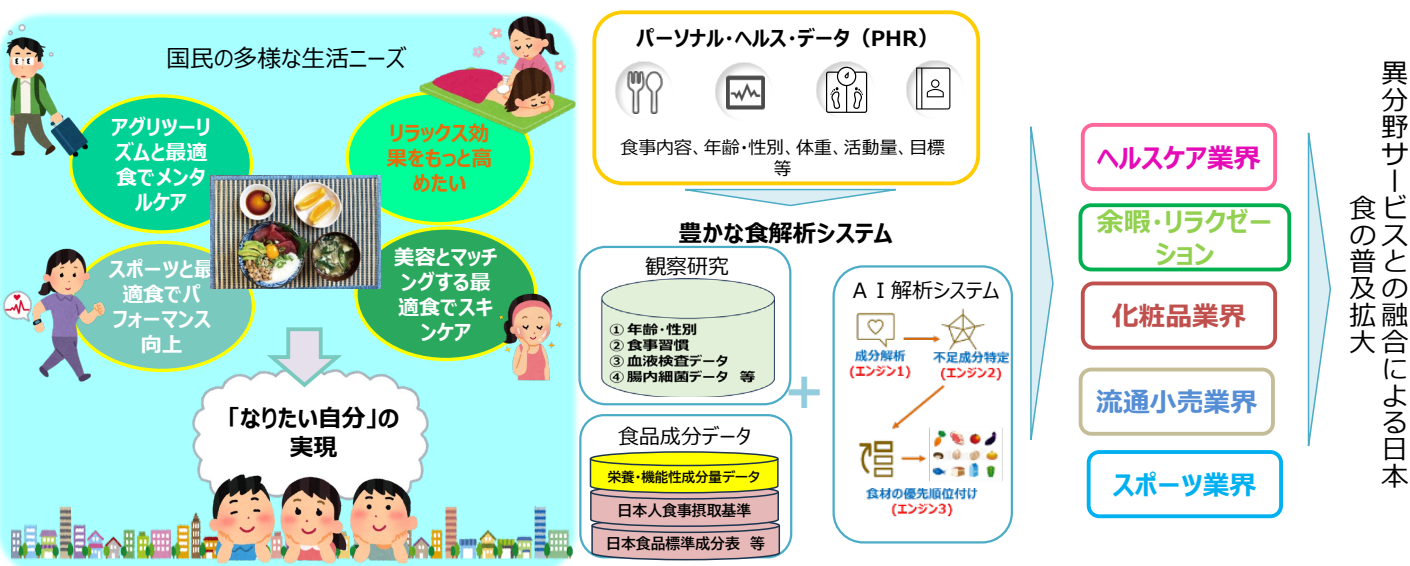
個別化された食材提案

成果の特徴

- ・国産農産物の消費拡大をねらいとした日本食の普及拡大のため、日常の食生活に気づきを与え、個々人の体調、嗜好、習慣等に応じて最適な栄養・機能性成分や食材を提案する食解析システムを構築しました。

成果の内容

- ・個人の属性、直近の食事、気になる体調（肌、睡眠、疲労など）を入力すると、不足している栄養・機能性成分量、最適な食材の組み合わせを出力するシステムであり、APIを介して利用が可能です。



国民の多様な生活ニーズと連動した食解析システムの活用

想定される用途・連携希望先

様々なサービスを育成するとともに、余暇、美容、エンターテインメントなどの異分野業種と融合して新たな食サービス産業を創出することを期待しています。

IT、食品、化粧品、小売、スポーツジム、キッチンスタジオ、アグリツーリズム、地方自治体などでの利用が想定されます。興味のある企業、小売等との幅広い連携を希望します。

※ SIP3「豊かな食が提供される持続可能なフードチェーンの構築」(グラント番号:JPJ012287)の助成によって実施

担当研究者：○山本(前田)万里1、木元 広実1、
所 属： 河合 崇行1、権 娟大2
1 食品研究部門、2 農業情報研究センター